

令和 5 年度
調査・研究に関する自己点検評価報告書

令和 6 年 8 月

静岡県立美術館

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年4月30日

職・氏名 学芸課長・石上充代

- 専門分野 近世・近代の日本画
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近代日本画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・研究ノート「都路華香《松風村雨》一能を描く」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第150号、令和5年7月)
- ・論文「木村武山《羽衣》について一天女の図像を中心に」(『静岡県立美術館紀要』第39号、令和6年3月)

小計 2本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・企画展「大大名の名宝」主担当
- ・同展 図録掲載対談司会
- ・同展 学芸員によるフロアレクチャー3回
- ・同展 教育普及事業(実技講座、わくわくアトリエ)展示解説
- ・ボランティア地域連携・草薙ツアーグループ担当(茶摘み、茶会等実施)

小計 5本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・ふじのくに芸術祭 企画委員会委員、美術部門美術展審査員
- ・ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員
- ・講座「世界遺産県民講座 富士山が育んだ日本の絵画」(1月27日 プラサ ヴェルデ)

小計 3本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・研究ノート「都路華香《松風村雨》一能を描く」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第150号、令和5年7月)
- ・論文「木村武山《羽衣》について一天女の図像を中心に」(『静岡県立美術館紀要』第39号、令和6年3月)

小計 (2) 本

合計 10本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年5月20日

職・氏名 上席学芸員 新田建史

- 専門分野 美学美術史
- 所属学会 地中海学会、保存修復学会
- 主要研究テーマ 西洋16～18世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

小計 0 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・センス・オブ・ワンダー展副担当
- ・沼津移動美術展一旅する人生一 副担当

小計 2 本

5. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・第43回文化財防虫防菌処理実務講習会講師 (10月5日(木))

小計 1 本

6. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 () 本

合計 3 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年5月20日

職・氏名 上席学芸員 南 美幸

- 専門分野 美学・美術史
- 所属学会 美術史学会、日仏美術学会
- 主要研究テーマ 西洋美術史

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

小計 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・企画展「センス・オブ・ワンダー」企画・実施
- ・同上展 フロアレクチャー 4回
- ・収蔵品展「版画でひもとく聖書と神話」企画・実施
- ・同上展 フロアレクチャー 3階

小計 4 本

7. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 本

8. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 () 本

合計 4 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年4月24日

職・氏名 上席学芸員・喜多孝臣

- 専門分野 日本近代美術史
- 所属学会 明治美術学会、文化資源学会
- 主要研究テーマ 昭和初期の社会と美術、印刷と美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「プロレタリア美術運動と「左傾本」の装丁について」『大原社会問題研究所雑誌』779・780 合併号、2023年9月
- ・「中村彝宛曾宮一念書簡について」『アマリリス』152号、2023年12月

小計 2 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「静岡県立美術館 小山町移動美術展一旅する人生一」(主担当、フロアレクチャー)
- ・「静岡県立美術館 沼津移動美術展一旅する人生一」(主担当、フロアレクチャー)
- ・「収蔵品展 美術館のなかの書くこと」(主担当、フロアレクチャー)
- ・「天地耕作 初源への道行き」(副担当)

小計 4 本

9. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・授業「日本近代美術史特講 d」実践女子大学

小計 1 本

10. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・「中村彝宛曾宮一念書簡について」『アマリリス』152号、2023年12月

小計 (1) 本

合計 7 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年5月21日	
職・氏名	上席学芸員 植松篤
●専門分野	現代美術
●所属学会	美学会、広島芸術学会
●主要研究テーマ	戦後美術
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・「静岡におけるアーティストの自主企画展覧会について」『アマリリス』No. 151、2023年10月1日	
・「天地耕作―「フィールドワーク」から生まれる芸術」『天地耕作 初源への道行き』図録、2024年2月29日	
	小計 2本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・企画展「天地耕作 初源への道行き」主担当	
・同展特別講演会1主担当	
・同展特別講演会2主担当	
・同展トークセッション主担当	
・同展館長美術講座主担当	
・同展パフォーマンス主担当	
・同展フロアレクチャー(1回)	
・収蔵品展「静岡の現代美術と1980年代展」主担当	
・収蔵品展「太田正樹コレクション展」副担当	
	小計 9本
11. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・常葉大学 現代芸術概論 講師「企画展「天地耕作 初源への道行き」について」(1コマ)7月25日	
・静岡大学 講師「静岡県立美術館「天地耕作 初源への道行き」展レクチャー 野外制作プロジェクトと裏山のプランについて」(1コマ)1月25日	
	小計 2本
12. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
・「静岡におけるアーティストの自主企画展覧会について」『アマリリス』No. 151、2023年10月1日	
	小計 (1)本
合計 13本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年 5月 28日

職・氏名 上席学芸員 川谷承子

- 専門分野 現代美術
- 所属学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「「幻触」の鈴木慶則について」、「水の絵「幻触」と「幻触」以降の鈴木慶則」展パンフレット（フェルケール博物館）エッセイ寄稿
- ・「石田徹也とは何者か。5つのポイントからその作家像にせまる」、ウェブ版「美術手帖」寄稿
- ・「海外での石田評価について」、別冊太陽「石田徹也」特集号記事執筆

小計 3本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- 新収蔵品展
- 収蔵品展「太田正樹コレクション展」 主担当
- 企画展「センス・オブ・ワンダー 感覚で味わう美術」現代作品の展示撤収立ち合い
- 企画展「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」副担当
- 企画展「天地耕作 初源への道行き」副担当
- 収蔵品展「静岡の現代美術と1980年代」副担当
 - ・2023/4/23 新収蔵品展フロアレクチャー
 - ・2023/5/7 新収蔵品展フロアレクチャー
 - ・2023/6/3 太田正樹コレクション展フロアレクチャー
 - ・2023/7/2 太田正樹コレクション展フロアレクチャー

小計 10本

13. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- 太田正樹コレクションの寄贈受入および「太田正樹コレクション展」に関する広報活動
- 「TETSUYA ISHIDA My Anxious Self」展（NY, ガゴシアンギャラリー）への作品貸出に伴う業務
- 「THE IRREPLACEABLE HUMAN」展（デンマーク、ルイジアナ美術館）への作品貸出に伴う業務
- ギャラリーツアー（対話型鑑賞ボランティア）への研修
- VOCA2024 展の作家推薦、原稿執筆
- NCAR 国際シンポジウム・ワークショップ参加

小計 6本

14. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・「「幻触」の鈴木慶則について」、「水の絵「幻触」と「幻触」以降の鈴木慶則」展パンフレット（フェルケール博物館）エッセイ寄稿
- ・「石田徹也とは何者か。5つのポイントからその作家像にせまる」、ウェブ版「美術手帖」寄稿
- ・「海外での石田評価について」、別冊太陽「石田徹也」特集号記事執筆

小計 (3)本

合計 19
本

調査・研究に関する自己点検 報告書

	提出日 令和6年4月16日
職・氏名 上席学芸員 貴家映子	
●専門分野 西洋美術史 ●所属学会 日仏美術学会 ●主要研究テーマ フランス近代美術、風景画	
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・論文「ポール・シニャック作《サン＝トロペ、グリモーの古城》について一明るい廃墟の位置づけをめぐって」『静岡県立美術館紀要』第39号、令和6年3月31日	
小計 1本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「糸で描く物語」7月25日～9月18日 主担当 ・同展 館長美術講座「糸と布と衣服をめぐるお話」8月26日 ・同展 フロアレクチャー 7月29日、9月3日 ・同展 スライドトーク 9月9日、9月17日 ・同展関連 夏休みこどもワークショップ「ちくちくアート」8月5日、6日 ・同展関連 ちょこっと体験「みんなでちくちくアート」8月11日～14日 ・同展関連 実技講座「糸と針で表現する武井武雄の世界」8月19日、20日 ・同展関連 クラフト市「GARDEN museum market」9月9日、10日 ・ロダンウィーク 11月1日～5日 ・収蔵品展 全体調整 	
小計 10本	
15. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・石水博物館企画展「川喜田半泥子が見た欧米」記念講演会「川喜田半泥子が見た100年前のパリ画壇」5月28日 ・静岡県立大学 国際関係学部特別講座「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」7月14日 ・『アマリリス』変遷史(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第150号、2023年7月1日) ・「子どもと美術館【静岡県立美術館】」(『造形ジャーナル』No.445、開隆堂出版株式会社、2024年2月29日) ・「突撃!となりのミュージアム! Vol.3-『有度丘陵の片隅で多分野のミュージアムの在り方を語る』篇-(報告)」『静岡県博物館協会研究紀要』第47号、令和6年3月31日 	
小計 5本	
16. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
・論文「ポール・シニャック作《サン＝トロペ、グリモーの古城》について一明るい廃墟の位置づけをめぐって」『静岡県立美術館紀要』第39号、令和6年3月31日	
小計 (1)本	
合計 16本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和6年5月24日

職・氏名 主任学芸員 浦澤倫太郎

- 専門分野 日本美術史
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近世絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・論文「南画家・池田桂仙と浜松」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第153号、令和6年3月)
- ・論文「近世から近代にかけての村松周辺の展望地と絵画」(中條暁秀編『日海記の世界』、静岡新聞社、令和6年4月)

小計2本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

出張講座【富士根南小学校】10月3日(火)

小計1本

17. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

講義「小杉文庫について(全2回)」【静岡大学】(「地域の人と文字文化」)5月29日(月)、6月5日(月)

小計2本

18. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

論文「南画家・池田桂仙と浜松」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第153号、令和6年3月)

小計(1)本

合計5本